

様式第 2 号

視察研修先	大阪府柏原市	氏名	野口康一郎
視察研修項目	市内循環バス運行事業について		
【視察先概要】 大阪府の中東部に位置し奈良県との県境の町。市全体の 3 分の 2 が山間部。町の中央部には一級河川の「大和川」が流れていて、ぶどう栽培が盛んで、ワインも生産されている。人口約 6 万 6 千人。 【視察内容】 柏原市が直営で運行している市内循環バス「きらめき号」が 5 台走っていて、一部平日の午前 6 時～午後 6 時台まで運行していて無料。市民の生活を支えている。 【感想・所見】 市内循環バスの運行がスタートしたのが 1998 年との事。市内を運行していたバス会社が利用者減を理由に同市での事業を縮小した事をキッカケに始まった。当初は既存のバス会社が縮小したところをカバーする形で 2 台の運行を開始したが、バス会社が完全に撤退してしまったため、現在は 5 台で運行しているとの事。昨年一日当たりの利用者数は約 770 人。利用者数が多い時間帯には定員オーバーとなり乗車を断ってしまわなければならない方も出ているとの事。特定のエリアに限った事のようにだが、市民の足として定着している事が素晴らしいと感じた。また、現在どこにバスがいるかを把握するために、国の「デジ田交付金」を活用し公開型 GIS を整備している事も素晴らしいと感じた。AI カメラによるデータ収集なども活用し住民の満足度アップも考えられていた。 寒河江市の場合はタクシー会社さんをお願いしバスを運行していただいているが、柏原市では市の職員が運行していることに驚いた。ただ、安定して事業を継続するために民間委託を検討しなければならないとなっているとの事。 課題も沢山あるようだった。現在、無料にしている料金を有料化した方が良いとの意見もあるようだが、有料にすると道路運送法上の問題も出てくるし、運行事業者の確保も難しいようだ。市役所での視察の帰りに職員の方より、「是非循環バスに乗って見て下さい。」と声をかけていただき乗せていただいた。その際に隣に座られた方と話をしたが、「無料はありがたい事だが少しでもお金を取らないと乗る方ばかりが得をしてしまう」との意見があった。予算規模が約 1 億円と聞くと税の公平性からしても少しでも料金を徴収した方が私もいいのではないかと感じた。ただ、料金を徴収した際のデメリットもしっかりと考えていかなければならない。 まずは寒河江市の循環バスの利用促進をどのようにするか、少しでも取り入れていきたい。			

様式第 2 号

視察研修先	大阪府豊中市	氏名	野口康一郎
視察研修項目	幼児教育サポートセンターについて		
【視察先概要】 大阪府の北西部に位置し、南には大阪市が隣接している。第 1 回目の全国高等学校野球大会が開催された豊中球場があり、「高校野球発祥の地」とされている。人口約 39 万人。 【視察内容】 幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。そんな幼児期に質の高い幼児教育を、公私や施設の垣根を越えて提供するためにも幼児教育センターの役割が重要。 【感想・所見】 この度の視察で私が個人的に一番関心のあった施策。幼児教育推進体制の構築は全国的に進んで来ているようだが、令和 6 年現在では残念ながら山形県では進んでいないようだ。 豊中市には幼児教育のアドバイザーが 131 名在籍しているとの事。アドバイザーになるには大阪府の幼児教育アドバイザー育成研修を受ける必要があり、市の職員の方や元幼稚園の先生などがいるとの事。幼児施設の先生になったばかりの新任の先生からすると幼児教育に関しての悩みやアドバイスを聞けるアドバイザーがいることはとても心強いのではないだろうか。保育施設に直接出向いてアドバイスを貰える事や公開保育で他の保育施設の職員さんが研修で他園を見学する事が出来るのも良いことだと感じた。 私が一番聞いていて大事なことだと思ったのが、「幼保こ小連絡協議会」である。各幼児施設の先生と小学校の先生との連携や意見交換が大事だと思った。寒河江市でも小学校の先生が次年度入学する予定の年長さんのクラスを見学に来るそうだが、回数が年に 1 回との事で、もっと見に来て欲しいと言っていたのを思い出した。 先生を対象とした研修会を昨年は 28 回も開催したそうだが、勤務時間帯と重なり参加者数が少ないのも課題との事。研修は大事だが、先生方の負担が多くなりすぎるのも問題だと感じた。 子ども達を見てくれる施設は幼稚園や保育園、認定こども園等様々な形態があるが、子を持つ親としてはどこの施設に預けることになっても、質の高い幼児教育を受ける事が出来る事は大変ありがたい事だ。寒河江で生まれ育った子ども達が元気にすくすくと育つ事を願う。			

様式第2号

視察研修先	大阪府摂津市	氏名	野口康一郎
視察研修項目	摂津SUNSUN塾について 教員の人材育成について		
【視察先概要】 大阪市の北東端に隣接し、大阪都心から10km圏内にある。市の南端に淀川が流れ市域はハート形のような形で14km²と小さな市である。人口約8万6千人。 【視察内容】 地域や家庭の事情により学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に対して学習環境を提供する摂津SUNSUN塾と教職員の人材育成を行っている教育センター事業。 【感想・所見】 平成29年よりスタートした「摂津SUNSUN塾」は、算数の基礎的・基本的な内容の定着に問題があったため、算数・数学のみ実施する形でスタートしたとの事。SUNSUNは算数の「サン」が由来。小学6年生から中学3年生までの生徒が対象で各学年在籍者の約10%が参加しているとの事。親の事情により学習塾に通えない子どもが公民館を使い自分の課題に取り組む事が出来るのはとても良い事だと感じた。 週3回夕方から開催されているようで回数も多いように感じるが、子ども達の反応も良いようだった。自宅で1人勉強するよりも周りに友達がいる状態の方が切磋琢磨していいのではないかと感じた。寒河江でも今年度から子どもの学習支援が始まるとの事でした。摂津市のように多くの子ども達が参加してもらえるように工夫していただきたい。 現在、全国的に先生のなり手不足が問題となっている。また、先生になったとしても労働環境に合わずに離職してしまうという事も問題となっている。摂津市では教職員の全体研修やサマーセミナー・ウインターセミナーで教職員のレベルアップに繋げてきた。小学校の先生と中学校の先生がお互いの学校に見学に行って実際の授業の様子を見てくる事は素晴らしい事だと感じた。特に新任の先生が研修会やセミナーを通じて顔見知りの先生ができて悩みを相談できる体制ができるのは良いことだと感じた。また、現役の先生が指導教諭となり先生に模擬授業を行う事は実技研修を行う事が少なかった先生方からの評判も良いとの事だった。今年度行われた学級経営を考える勉強会では「教師主導」から「子ども主体」の自治的集団を作る方法について、ルール作りや人間関係作りのポイントなど、様々な実践を紹介しながらの研修は素晴らしいと感じた。研修や相談会があることで離職率も低く、やりがいを感じる先生が多いとの事で寒河江でも実践すべきだと感じた。ただ、お話を聞くと先生の採用方法が違いうので摂津市以外への移動がないとの事。市外への移動がある寒河江の現状では残念ながら参考にするのが難しいのではないかと感じた。			

様式第 2 号

視察研修先	株式会社コーミン(大阪府大東市)	氏名	野口康一郎
視察研修項目	morinekiプロジェクトについて		
【視察先概要】 大阪市の東側に位置し、街の東側に飯盛山がある面積 1 8 km²の街。幼稚園から大学まである私立の学校法人四條畷学園があり多くの学生が行き交う。人口約 1 2 万人。 【視察内容】 市営住宅の建て替えに、全国初のPPPエージェント方式を用い、行政と民間業者が連携して開発を行い、新たなまちづくりを行っている。 【感想・所見】 J R 四條畷駅、徒歩 5 分の場所にあった市営住宅を建て替えなければならない際に、入居者の生活レベルを上げ、周辺住民の方々から喜ばれる場所にしたいとの思いがあり、ただの箱物の住宅ではなく皆が集まれる場所にするため、この事業がスタートしたとの事。行政主導で進めると、どうしても住民の方々が望むようなものが出来ないとの話で、どこの市町村でも同じ事が起きているのだと感じた。 民間と連携する事でお互いのメリットを共有し行政にしか出来ない事と民間にしか出来ない事を上手く組み合わせて物事が進んでいると感じた。寒河江でも是非このような動きが増えていけば良いと思う。 プロジェクトの敷地内には市営住宅とテナントが入る施設が併設されていて、カフェやアウトドアショップ、アパレルメーカーのオフィスなど様々なお店が入居していた。市営住宅に住んでいる方だけではなく、周辺の住民の方やイベントをすると他市町村の方々もお越しになるとの事で、賑わい創出と経済が回っているのが感じ取れた。視察した平日の午前中にも沢山のお客様がいらっしゃった。 説明の中であった「テナント先付け逆算開発」は参考になった。物件を再開発する前にテナントを必ず見つける事で家賃が決まり、投資回収期間が決まるとの考え方は真似すべきである。そうする事で金融機関からの融資も得やすいとの事。 公共施設を作る際、どうしても一カ所にまとめて複合施設として使いたくなるが、そうしてしまうとその施設が何の目的で建っているかがわからなくなり、結果的にお金をかけたけれどもあまり使用されない施設になってしまうとの事。目的をしっかりと持ち、ブレずに簡潔にしなければならないと学んだ。 寒河江市でもこれから様々な公共施設の見直しをしなければならない。しっかりとした目的を持って考えていかないと税金の無駄使いになってしまう。市民の方より出来て良かったと言ってもらえる施設を作っていきたい。			